



街角レポート

芸術に出会える街
～アートタウン“TORIDE”～
ストリート
アートステージ

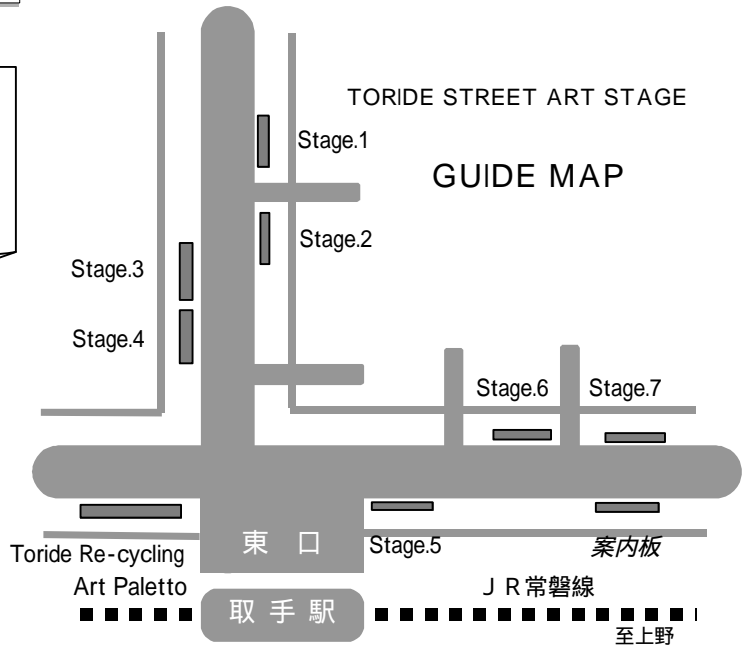
取手駅東口を歩いていると、歩道に見慣れぬ形をした芸術作品が展示されていることに気が付くと思います。ある人は歩きながら、またある人は立ち止まってこの作品を眺めています。子どもたちは作品に触れ、近所の商店のみなさんは、野外に展示されているために汚れた作品を掃除してくれたりしています。



ストリート
アートステージ



宮ノ前ふれあい公園
(取手市戸頭)



取手市は、東京芸大が市内にあるという地理的環境を生かして、様々なアートに関するイベントを開催しています。その中のひとつである「ストリートアートステージ」は、取手駅東口の歩道沿いに設置された野外のアートギャラリーのことで、12基設置されています。12基のうち4基には、行政と東京芸大そして市民が三位一体となって開催している「取手アートプロジェクト」のシンボルであるカラーリング自転車が1基に5台ずつ計20台、7基には東京芸大美術学部彫刻科と工芸科のみなさんの作品が1基に2～3点ずつ計16点、残りの1基にはそれについての案内板が展示されています。この16作品は、おおむね2年に1回展示替えが行われ、現在展示されているものは二代目になります。初代に展示された作品は、8作品ずつがリングになって2つの大きな作品となり、市内戸頭の宮ノ前ふれあい公園に展示されています。

取手市には、この他にも様々な芸術作品があり、市民のみなさんの憩いの一時を演出しています。散歩しながら、探してみたいでしょうか。

(編集委員 M.N)

問い合わせ先 取手市教育委員会生涯学習課
文化芸術振興室

0297-74-2141 内線445



～つむぎの里「結城」の
灯籠の休憩所～

浦町まちかどパーク

結城市の中心市街地である浦町の交差点の角に、このたび『浦町まちかどパーク』が出来ました。

浦町まちかどパークは、結城市を訪れる観光客の方々が、休憩所として利用することを目的に市が造成したものです。

このコーナーでは、県内外のまちづくりやちょっと素敵なまちなかのお店や施設などをレポートし皆さんにご紹介します。



結城市は全国的に知られた織物である「結城紬」の産地であり、また昔からの城下町として、古きよき街並みのなごりを見ることができます。

街並みを象徴するかのよう建てられたまちかどパークは、灯籠をイメージしてデザインされた灯りの塔が左右に1棟ずつ建てられ、その塔を結ぶようにして瓦の屋根を設けています。夜になって灯籠に「火」がともると、ぼんやりとした灯りが江戸時代にでもタイムスリップしたような雰囲気を作り出してくれます。

なお、パーク内には結城市内の文化・公共施設をわかりやすく示した案内板やガイドマップもありますので、休憩しながら新たな散策コースを探すこともできます。

まちかどパークは、面積約155平方メートルの小さなスペースですが、結城の魅力がたくさん集まっていますし、パーク内に植樹された桜の木のコシノヒガンは、市内にある通常の桜よりも早く花が咲きますので、私達に春が来たことを教えてくれているようですよね。

(編集委員 T.T)

問い合わせ先：結城市役所都市計画課
TEL0296-32-1111 (代表)

